

# 今こそ!ウチも省エネ

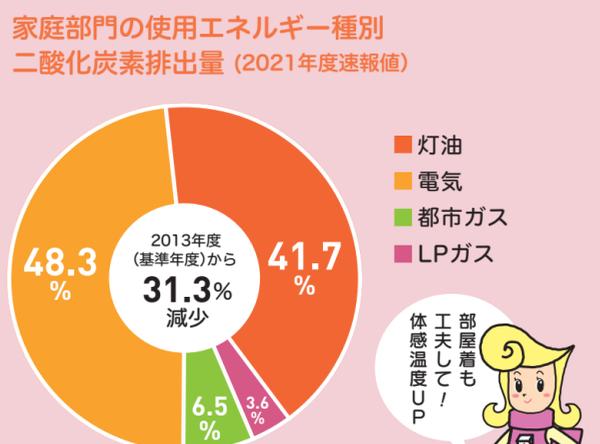
## 冬のチェックポイント Check!

できている項目をチェックしてみましょう!

### ご家庭の省エネ

※無理のない範囲での省エネをお願いします。

省エネチェック項目	CO2削減量
<b>エアコン</b> 冬の暖房時の室温は20℃を目安に。 外気温6℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)。	25.9kg削減
暖房は必要なときだけつける。 暖房を1日1時間短縮した場合(設定温度:20℃)。	19.9kg削減
必要な時だけつける。 1日1時間運転を短縮した場合(設定温度:20℃)。	41.5kg削減
広さに合った大きさを。 室温20℃の時、設定温度が「中」で1日5時間使用した場合、3畳用のカーペットと2畳用のカーペットとの比較。	43.9kg削減
設定温度は低めに。 温度調節を「強」から「中」に下げた場合(1日5時間使用)。	23.9kg削減
点灯時間をできるだけ短く。 34WのLED照明器具1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。	1.2kg削減
就寝前に寝室の照明の明るさを下げましょう。 34WのLED照明器具1灯の点灯時間を1日1時間50%に調光した場合。	2.7kg削減
設定温度は適切に。 設定温度を「強」から「中」にした場合(周囲温度22℃)。	30.1kg削減
壁から適切な間隔で設置。 両側が壁に接している場合と片側が壁に接している場合。	22.0kg削減
使わないときはフタを閉める。 フタを閉めた場合と、開けっぱなしの場合の比較(貯湯式)。	17.0kg削減



冬の暖房は、室温設定20℃が省エネの省エネポイント

FF式石油ストーブ

●設定を2℃下げて、20℃にした場合

年間で灯油 35.5ℓの省エネ 約4,302円の節約

暖房の設定温度を22℃から20℃に下げた場合。地域:札幌、暖房面積:約23m<sup>2</sup>(約14畳)、機器1台、運転時間:5時~24時(19時間)

石油セントラル暖房

●家全体の設定を2℃下げて、20℃にした場合

年間で灯油 208.5ℓの省エネ 約25,270円の節約

暖房の設定温度を22℃から20℃に下げた場合。地域:札幌、暖房面積:約130m<sup>2</sup>(約76畳)、運転時間:5時~24時(19時間)

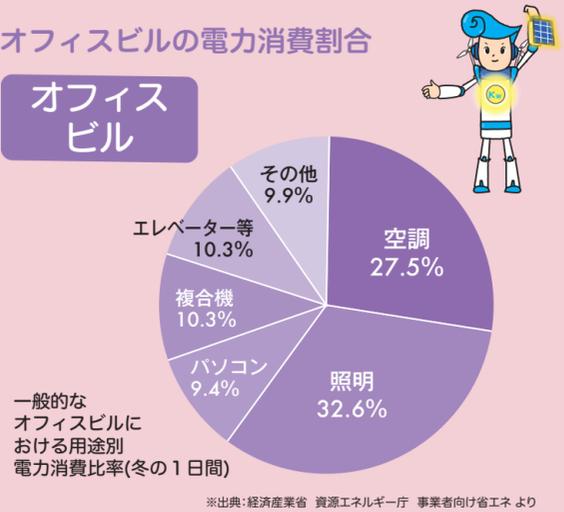
石油・ガスのストーブの使い方

●点火時はエネルギーを使うので、自動運転ではなく、例えば、微少燃焼を活用した連続運転を行うことにより、点火時のエネルギーを節約できる場合があります。

### 事業所の省エネ

※無理のない範囲での省エネをお願いします。

省エネチェック項目	節電効果
無理のない範囲で室内の温度を下げる。	
使用していないエリアは空調を停止する。	
夕方以降はブラインドカーテンを閉め暖気を逃さないようにしましょう。断熱フィルムも有効。	
フィルターなどメンテナンスをこまめに実施しよう。	
執務室の照明を半分程度間引きする。 (労働安全衛生規則基準値(精密作業300Lx、普通作業150Lx、粗い作業70Lx)にもご注意ください)	13.0%削減
使用していないエリア(会議室・廊下等)を消灯する。	3.9%削減
人感センサー付きやLEDの照明に変えることも検討しよう。	
コピー機が複数台ある場合は、使用頻度に応じて稼働台数を減らす。	
長時間席を離れるときはOA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3.9%削減
「ウォームピズ」を実施する。	



その他にも身近でこんな省エネ対策を行えます

**お風呂のシャワー**

シャワーを浴びている時に使われているエネルギーは、テレビ約200台分です。シャワーを流しっぱなしにしないでこまめに止めましょう。

・シャワーから出るお湯の量は毎分10リットル、15℃の水を40℃まで温める。このときに必要となるエネルギーは、約17,500W。テレビの消費電力を100Wとして計算すると、175台分のエネルギーを使っていることとなります。

**スマホのWiFi**

Wi-Fi環境のない所でWi-Fi設定をオンにしておくと、バッテリーを消耗してしまいます。Wi-Fiを使わない場所では設定はオフにしましょう。

小まめに オフ!

## この冬の省エネについて

本来の省エネルギーとは、エネルギーを無駄なく効率的に活用することにあります。まずは簡単に取り組み、効果の大きいところから始めることで、ムリなくエネルギー消費と光熱費の削減につなげることができます。

今冬の北海道の電力需給は安定供給に最低限必要な予備率が確保できる見通しですが、電力の需給ひっ迫があらかじめ想定される時には、国や電力会社から事前に情報が提供されます。

需給ひっ迫 **準備情報** 2日前に予備率が5%を下回る見通しの場合、一般送配電事業者より発信

需給ひっ迫 **注意報** 1日前または当日に予備率が3~5%の見通しの場合、資源エネルギー庁より発信

需給ひっ迫 **警報** 1日前または当日に予備率が3%を下回る見通しの場合、資源エネルギー庁より発信

※予備率:電力需要に対して供給余力の余裕がどの程度あるかを示したものです

**でんき予報をチェック!**

電力需給情報サイト「でんき予報」では、その日の電力の供給力と使用状況をお知らせしています。夕方には翌日の予報も発表されます。

小まめにチェックするぞござる!

北海道エリア でんき 検索

※ほくでんネットワークウェブサイト([http://denkiyoho.hepco.co.jp/area\\_forecast.html](http://denkiyoho.hepco.co.jp/area_forecast.html))

## もしもの時のための備えを

平成30年の北海道胆振東部地震の教訓等を踏まえ、平時より十分な備えをしておきましょう。

### 停電に備えた日頃の準備

**太陽光発電をご自宅に設置されている方へ**

ご自宅の屋根などに太陽光発電パネルを設置されている方は、停電時でも「自立運転機能」により発電している日中は電気を使うことができます。※自立運転機能の使用方法は、メーカーや機種によって操作方法が異なることから、あらかじめ、取扱説明書などを確認しておきましょう。ただし、発電や蓄電の容量は限られていますので、停電の場合にも有効に活用できるよう、日頃からご自宅で使用している家電の消費電力を把握しておくなど、準備しておきましょう。

※蓄電機能が付いている機種は夜間の使用も可能となります。

**非常用発電設備をお持ちの方へ**

非常用発電設備の燃料備蓄状況を確認してください / 十分な量があるか

災害時には、燃料の輸送手段が確保できなくなったり、営業している地域に給油所に給油を求められる方が集中する等、燃料の確保に時間を要する可能性があります。日頃から十分な備蓄量があるか確認しましょう。

保存方法と定期的な点検

酸化・劣化による燃焼不良や、沈殿物発生による燃料フィルターの目詰まり等を防ぐため、涼しい場所に密閉して保存するとともに、定期的な点検及び入替を行ってください。

**満タン&灯油プラス1缶運動**

満タン&灯油プラス1缶運動とは、大規模災害発生直後、店頭混雑によってガソリン等燃料が入手困難となる状況を回避するために、「日頃から車の燃料が半分程度になったら満タンにしておくこと」や「灯油を1缶余分に保管しておくこと」を推奨する運動です。

車の燃料が満タンになっていれば

- プライバシー空間としての車内を情報収集拠点として利用できます。
- 400km程度の移動が可能になります。(タンク容量、車両燃費により異なります)

灯油が1缶(18ℓ)余分にあれば

- 暖かい空間を85時間程度維持できます。(和室7帖を中火燃焼した場合)
- ホームタンクをお使いの地区でも、1缶余分に持つことで災害時の安心度が高まります。

もしもの時のために、車は満タンに、灯油は多めに備えましょう。

**災害時にも給油できるガソリンスタンド(SS)をご存じですか?**

道内には、自家発電設備を保有し、災害時にも地域住民の方々に給油できるSSが整備されています。もしもの時のために、お近くの該当するSSをご確認ください。

北海道地域サポートSS 検索

北海道資源エネルギー課ウェブサイト <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/SS-saigaji.html>

【お問い合わせ先】 全国石油商業組合連合会 TEL:03-3593-5811代 FAX:03-3580-9245

**大規模停電が発生した場合に備えた〈事例集〉を作成しました。**

道では、生活・産業・交通インフラ等の各分野で懸念される事象、停電への備え及び対応事例等について、関係業界や個別企業、行政機関等へのヒアリングを実施し、〈事例集〉としてとりまとめましたので、ご活用ください。

詳しい情報は こちらから

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zcg/fuyunotaisaku.html>

※CO2排出係数は、地域・事業者・時期により異なりますので、ここでは、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」(環境省)の係数を使用しています。 ※出典:経済産業省 資源エネルギー庁 家庭でできる省エネ

※記載している省エネ効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。 ※出典:経済産業省 資源エネルギー庁 事業者向け省エネより

※省エネを意図するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください ※出典:経済産業省 資源エネルギー庁 事業者向け省エネより